

技術者のレベルアップ図る

日測協がアドバンスセミナー

(公社)日本測量協会は、このほど2024年度測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナーを那覇市の沖縄産業支援センターで行った。

同協会沖縄支部の平良聡副支部長は「測量業界においては、技術力、業務実績、技術資格などの多方面からの視点により評価される時代となっている。また働き方改革により時間外労働が制限され、その中で作業効率を高め、成果を収める必要がある。そのためには、新しい技術や機器の導入に積極的に取り組み、技術力を高め、効率化により無駄を省いていく必要がある」と指摘。その上で「本日のセミナーが日頃の業務に役立ててもらおうとともに、有益なもの

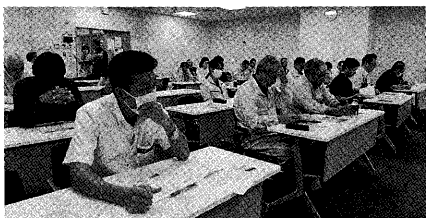
となることを祈念する」と呼び掛けた。

同協会顧問の瀬戸島政博氏は「UAVを利用した地域空間の測量・調査」と題して講義。UAVを利用した地域空間の測量調査を

「SII Seeds (シーズ)『技術あるいは技術力』」、「NII Needs (ニーズ)『需要』」、「SII Share (シェア)『市場占有率』」の各分野から考えてみよう」と提案。UAVに備えられた機能を駆使した計測事例やUAVを中心とした複合的な測量・調査事例などを紹介し、技術者が考えるべきことは「地

域空間を主要なフィールドとしてUAVの複合的利用を図り、成果である三次元地形データを調査・設計・計画まで利用すること」と持論を展開した。

このほか同日のセミナーでは、国土地理院の取組について(講師・山口秀夫国土地理院沖縄支所専門職)、「準則の最新動向、技術講習等の活用ポイント(講師・加川亮日測協測量技術教育部長)、「測量成果の品質管理等について(講師・同)、「技術提案書とその作成方法(私流)(講師・瀬戸島政博日測協顧問)、「測量技術者が上位資格を取得するために(私流)(講師・谷口理意日測協認定講師)の講義が行われた。



講義を受ける参加者